

交通事業者ヒアリング 結果概要

計画を絵に描いた餅ではなく、実現性の高いものにしていくために、事業者からの意見を取り入れることを目的として、交通事業者に対して施策の方向性について説明を行い、施策内容に対するヒアリングを実施した。詳細な結果は次ページ以降に示す。

◆開催日程

会 津 交 通 : 12 月 04 日 (水) 10 時～11 時 00 分
 会津美里振興公社 : 12 月 06 日 (金) 10 時 30 分～11 時 15 分
 会 津 バ ス : 12 月 10 日 (火) 10 時～11 時 00 分

◆結果概要

事業者	代表的な意見まとめ
会津交通	・ 一般タクシーよりも美里あいあいタクシーの利用が多い。 ・ ライドシェア等の活用ができるのであれば日中の利用が多い時間帯を正社員に運行させて夜は休めるようにしたい ・ イベントなどの臨時対応についても事前に相談があれば対応可能
会津美里振興公社	・ 寄せられている「予約を断られる」や「到着までに時間がかかる」といった「利用者の要望に応えられていない」という認識はそこまで感じておらず、そこまで対応する場合、事業圧迫になる可能性があるので、ある程度利用者が運行に沿うように合わせる必要があると考えている ・ チケットの販売箇所は増加ではなく、ニーズがあるところだけに精査する
会津バス	・ 施策 5 について「大型」自動車二種免許についても記載して頂きたい ・ 施策 7 について、ハウスカードとクレジットカードに加え QR やバーコード決済についても準備を進めたい ・ 施策 9 について、交通結節点に対してサイネージ等を設置すれば美里あいあいタクシーとの接続もしやすいかと思う ・ 路線利用者の増加に向けては「利用負担の軽減」を手厚くして頂きたい ・ バス路線の運行内容の見直しについては、ニーズに合わせた減便等を行いながら「高田駅への一部便の乗り入れ」や「伊佐須美神社経由の観光ルートへの見直し」「わかりやすいバス停名の設定」なども協議していければと思う

●会津交通ヒアリング結果

■現在の美里あいあいタクシーについて

- ・ 一般タクシーの利用よりも、美里あいあいタクシーの需要のほうが圧倒的に多い状況となっており、毎月の利用者数も増加している
- ・ そのため、一部の一般タクシーのリソースを美里あいあいタクシーに割いている部分があるため、決して余裕がある状況とは言えず、人員の確保が必要であると考えている
- ・ 現状、町内から若松市内に一般タクシーを利用して移動する需要は少ない
- ・ 複数台の車両があるため、昔の時間帯ごとの運用と現在の AI オンデマンドの形式を試験的に併用してみることも有り得ると考えている
- ・ 場合によっては、町にマイクロバスを 1 台購入いただき、それを借り受けながら巡回バスを運用する方法もあるかもしれない
- ・ 他には、毎週水曜日は利用が多いため、混み合う時間帯に台数を増やすことも考えられる
- ・ AI システムを導入したが、昔の NTT のシステムのほうが利用しやすかった
- ・ 現在は AI がルートを提案してはくれるが「田んぼの細道」や「冬季に危険な箇所」などもルートに含まれる場合があり、実際は経験のある運転手が判断してルートを走行している
- ・ 坂下厚生病院便については、現状のニーズであればデマンドに切り替えても対応可能

■職員の運用・雇用について

- ・ 現状、夜の時間帯はあまり一般タクシーの需要が高くないため、運転手および車両も待機はしているがあまり稼働はしていない
- ・ 昨今、ライドシェアの機運が高まっており、夜間の運転手（一般ドライバー）をパート雇用のような形で雇えるのであれば、日中の利用が多い時間帯を正社員に充て、夜間は休息させたい
- ・ 需要の変化とともに運転代行会社もライドシェアに変わっていくのかもしれない
- ・ 正社員の雇用および 2 種免許取得の支援はこれまでも行っているが、難しい状況にある

■利用者の確保について

- ・ 催し物などがある場合に、美里あいあいタクシーを利用することも考えられる
- ・ また、イベント時は事前に日程が把握できるため臨時便としての契約も可能

以上

●会津美里振興公社ヒアリング結果

■現在の美里あいあいタクシーについて

- ・ 計画骨子の内容について質問はない
- ・ ただ、説明にある「予約を断られる」や「到着までに時間がかかる」といった「利用者の要望に応えられていない」という認識はそこまで感じていない
- ・ AI システムの導入等によるサービスレベルの向上によって利用者が増加した結果であり、それらの要望に対応していくのは事業圧迫になりかねない
- ・ 実際は直前の予約で利用できない状態であり、予約をキャンセルするということはそこまで多くはないので、今の状態がベストかどうかも含め今後検討していく必要がある
- ・ 本サービスの始まりとしては、商工会が中心となった「小売商店の活性化」であるが、現在では公共交通の代替サービスや福祉的なサービス面も担っており幅広くなっている
- ・ 現在の美里あいあいタクシーの事業は始まったばかりであり、中には長時間待ってでも利用してくださる人はいる
- ・ 一部は利用する人が運行内容に合わせていかなければ「将来的には事業者が疲弊して対応できなくなる」といったことは大いに有り得る

■今後の運用について

- ・ Uber 促進派の考えではあるが、ライドシェアのように代行となる運転手を見つけ出して対応してもらうのは簡単だと考えている
- ・ 十年以内に自動運転と有人運転の併用、それ以降は自動運転のさらなる発達が見込まれる
- ・ ハイエースが足りない状況もあり、車両はある程度、売却することができる財産かと思うので、結果的に事業者負担してもらうよりかは安上がりになるのではないか
- ・ どうしても需要が多い時間は集中するので利用が分散できるようにするか、足りない時間帯だけでも別に委託することも有り得る
- ・ 施策について「チケットの販売箇所の増加」という記載があるが現在の運用システムになってから、商店街でのチケットの販売件数は減少しており、タクシー車内での販売件数は増加しているためチケットの販売箇所は「減少」させたい
 - ➡利用が多い施設で販売してほしいという声もあるため「増加」というよりは「精査」していく方向性で記載を見直す
- ・ また、アプリを利用したキャッシュレス決済もあるのでそちらも促進していきたい
- ・ 金額についてはタクシー車内での販売が「500 円」となっており、他自治体の運用する価格からすると相場的には高い金額だがそういった声は受けていない
- ・ 「販売所に行くのが大変」という声を受けているので、販売所に行かなくても買えるようにしたい
- ・ キャッシュレスの導入によって手数料が発生するが、これが積み重なると馬鹿にできない金額になるため、現在の価格である「500 円」は下げずにいきたい
- ・ また、デジタル地域通貨「会津コイン」にも適切に対応できるようにしていきたいと考えている

■公共交通の利用促進について

- ・ 現状では公共交通の利用促進に貢献できていないという認識であり、どのような形がふさわしいのか検討していきたい
- ・ 自家用車の利用が普及している中で公共交通間の乗継は使いにくく利用が少ないため、どのようにしてサービスを結びつけていくかを考えていく必要がある

以上

●会津バスヒアリング結果

■施策に対する意見について

- ・ 施策2、4に関連して、広域バス路線の利便性の向上については「学生の利用」が重要と考えており、朝の時間帯は鉄道を利用して通学できるものの、夜の時間帯には鉄道はあるものの少ない
- ・ 一方で、バスはあるものの鉄道と比べると「運賃が高い」といった状況であり、結果的に塾や部活などで19～21時の帰宅が当たり前になる中で保護者が駅に迎えに行くといった状況になっている
- ・ そのため「通学費負担の軽減」を手厚くしていただければ、公共交通の利用者は増えていくのではないかと考えている
- ・ 施策5について「普通」自動車二種免許の取得支援の記載があるが、ぜひ「大型」自動車二種免許についても記載して頂きたい

→追記する

- ・ 福島県でも限られた財源ではあるが用意されているので手を上げてうまく活用していきたい
- ・ 施策7について、現在のキャッシュレスの対応状況としては、ハウスカードとクレジットカードを利用できる状態にあるが、今後はQRやバーコード決済についても準備を進めたい
- ・ また、ハウスカードの活用としては通学費の支援の内容と重複する部分もあるかと思うが「対象者にある程度チャージしたハウスカードを渡すこと」や「他自治体のように無料のICカードとすること」など、特に高齢の方にとっては外出支援として「冬季をはじめとする安全な移動手段の提供」の役割も担っていると思うので検討頂きたい
- ・ 施策9について、どれほどの効果があるかは未知数ではあるが「じげんプラザ」など交通結節点となる施設に対してサイネージ等を設置すれば美里あいあいタクシーとの接続もしやすいかと思う
- ・ 既存のバス路線の見直しについては、現在、高田駅に乗り入れていないが、観光需要に対応するために高田線の運行ルートを過去に走っていたように「伊佐須美神社」を経由するような形で運行することも考えられると思う
- ・ 併せて、バス停名についても観光地の名称に設定するなど、高齢になって自分で運行情報を調べることができない方にもわかりやすく伝わるようにしなければならない
- ・ なお、昔から駅に乗り入れていない理由として「駅での転回がスペース的に難しい」ことがある
- ・ 只見線の運行本数が少ない状況ではあるが、仮に乗り入れが可能な場合は、停車する時間帯と合致している便だけでも乗り入れを検討できる可能性はある
- ・ 新鶴線については運行本数が少ないところもあるが需要がないのか分散しているのかわからない
- ・ 現在、全国的な問題となっている運転手不足が社内でも生じており、路線再編時にはニーズに合わせた減便も視野に利用促進と併せて検討を行いたい
- ・ 「あいづみさとワインフェス」が開催されるときは利用者が増加すると感じているが、催し物があるときだけ利用が増加するようでは維持が難しいため、通年の利用者を増やしていかなければならないと感じている

■その他

- ・ バスよりタクシーは1対1になる機会が多いのでタクシーの分野でも運転手は不足している
- ・ 「夜に酔っ払いを乗せるのが嫌」など最近の若い人たちは接客を好まない世代になったのかもしれない

以上